



# ワーケーションの推進による 公民連携のまちづくり

洲本市・富士通株式会社「ワーケーションパートナーシップ協定」締結にあたり

洲本市 企画情報部企画課



# 洲本市の概要

淡路島  
約596km<sup>2</sup>  
約13万人

洲本市  
約182km<sup>2</sup>  
約4.2万人  
(住基人口)





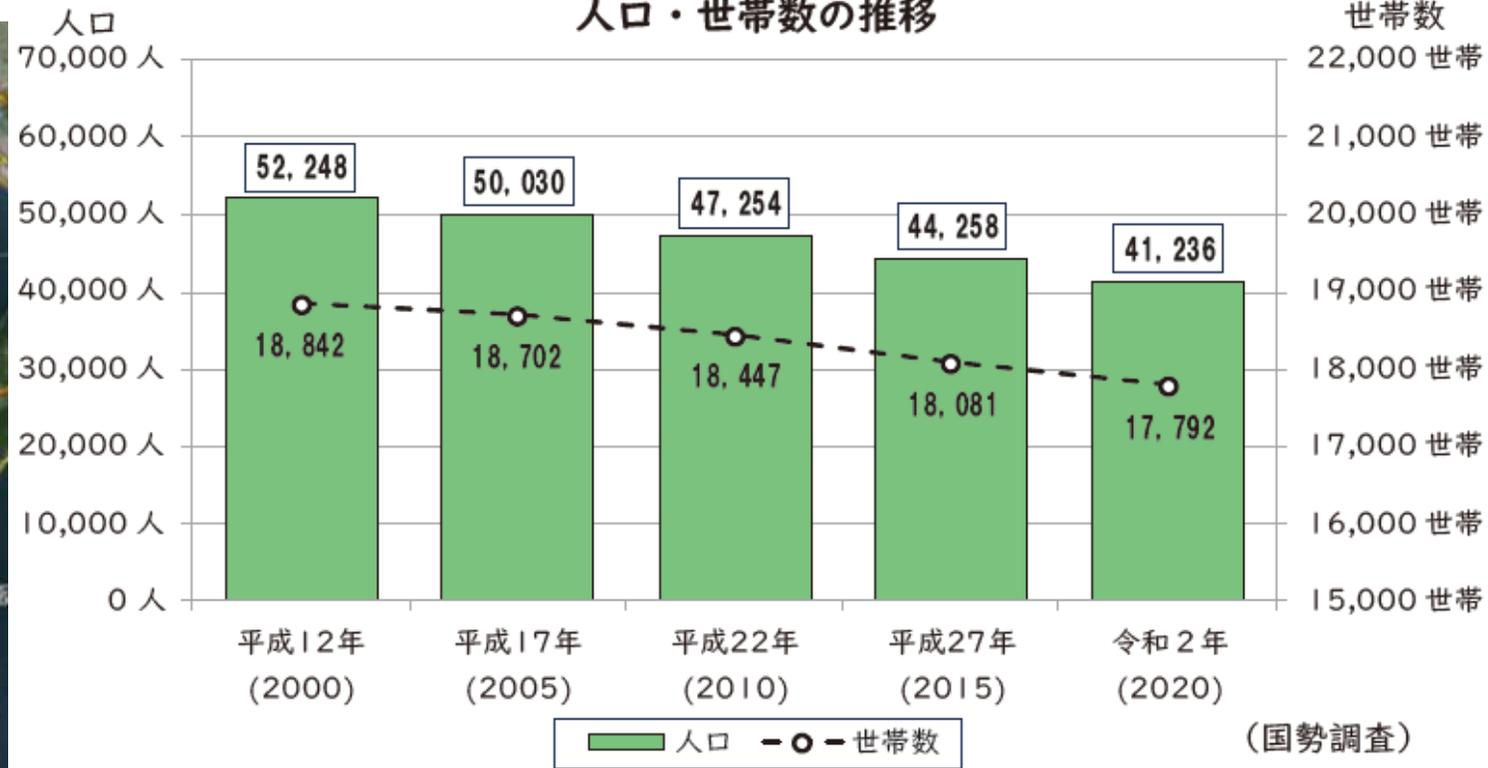
# 洲本市の概要



淡路島  
約596km<sup>2</sup>  
約13万人

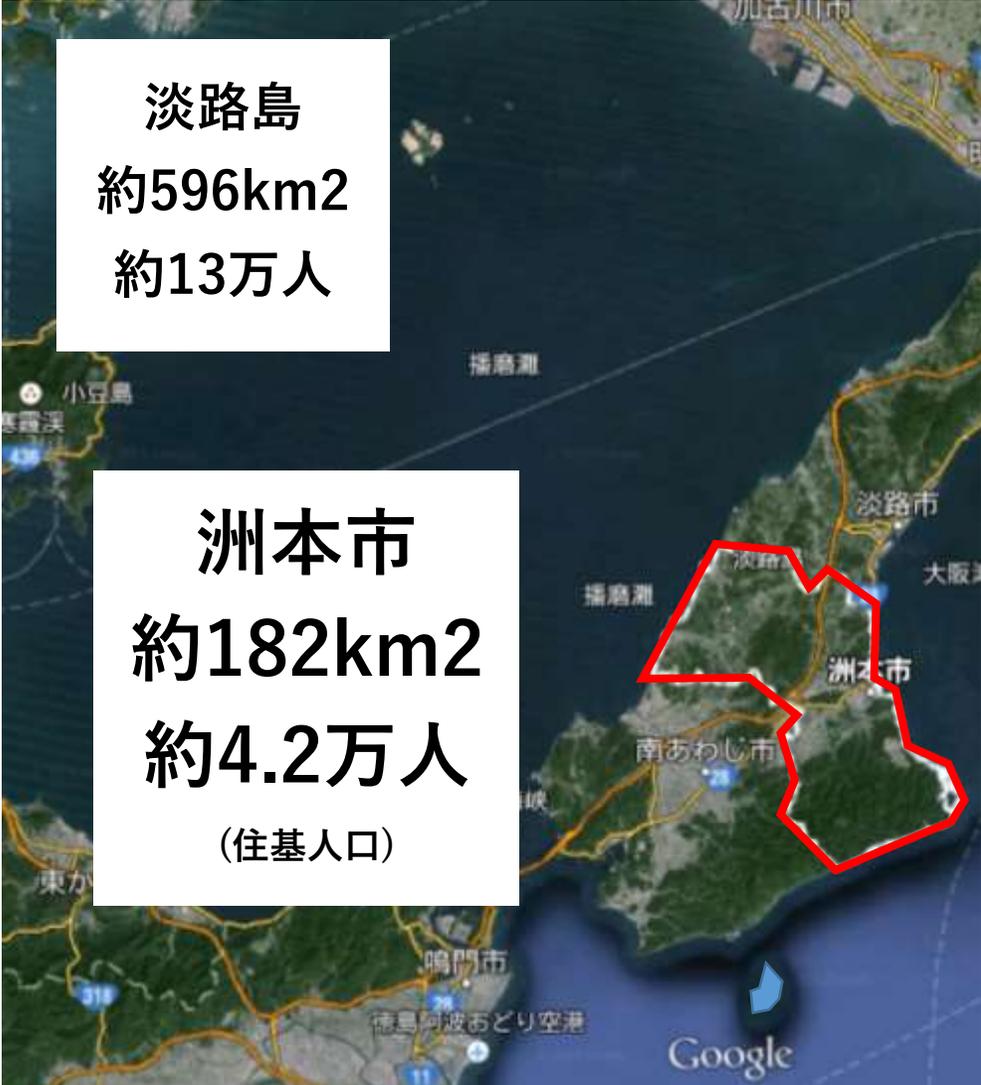
洲本市  
約182km<sup>2</sup>  
約4.2万人  
(住基人口)

### 人口・世帯数の推移

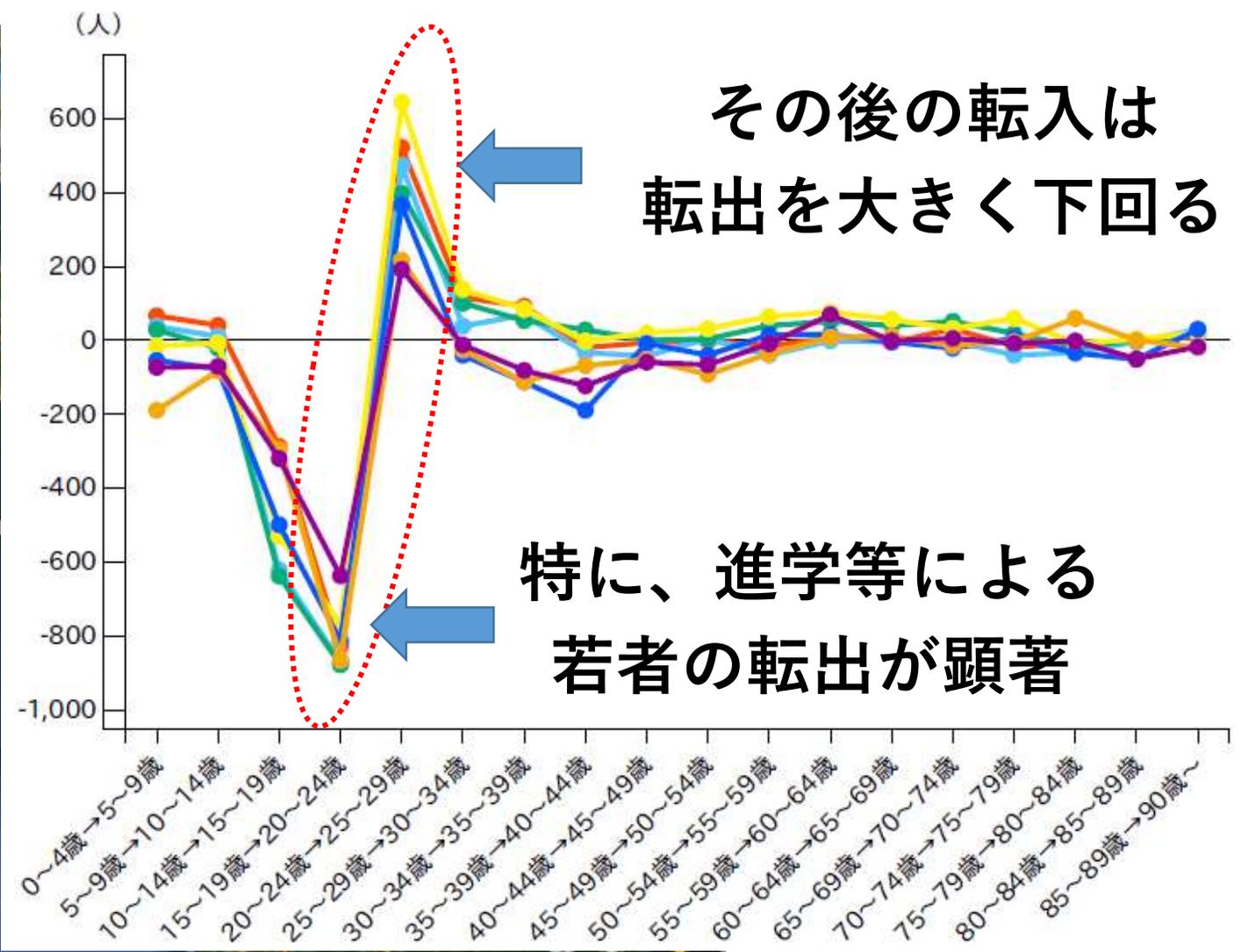


人口が毎年約600人  
減り続ける【過疎地域】

# 洲本市の概要



- 1980年→1985年
- 1985年→1990年
- 1990年→1995年
- 1995年→2000年
- 2000年→2005年
- 2005年→2010年
- 2010年→2015年





# 洲本市での公民連携の推進

若者減少に起因する様々な課題（活気や賑わいの減退、担い手不足等）への対応の一つとして**公民連携**を推進。市内に呼び込んだ大学や企業などの民間活力との協働によるまちづくりを展開。

①2013～ 域学連携事業

②2021～ 淡路島ゼロイチコンソーシアム設立

③2023～ ワークーションの推進



# 公民連携① 域学連携事業

2013年からの10年間で、33校から約850名もの大学生が洲本市で地域づくり活動に参加。地域の住民や企業との協働により、ユニークで多岐にわたる成果をあげている。



2014～ ロングトレイルコース整備  
(近畿大学ほか)



2015～2016 古民家リノベーション  
(京都工芸繊維大学ほか)



2017～ 地域貢献型ため池が  
ソーラー発電事業 (龍谷大学)



# 公民連携② 淡路島ゼロイチコンソーシアム設立

大学との連携に留まらず、都市部の企業との連携も推進するため、地域の事業者と金融機関の三者で設立。テレワークやワーケーション等で訪れる企業とともに事業創出するプラットフォームに。



## 淡路島ゼロイチ コンソーシアム



2022 第4回純国産MAMAサミットin淡路島開催支援

NIKKEN



2023～ 淡路島クエストカレッジ 開校





## 公民連携③ ワークーションの推進

洲本市、特に洲本市街地は、神戸からのアクセスが良い洲本バスセンターを玄関口として、徒歩圏内に様々なストックを有しており、また近年はテレワーク環境が整ったコワーキングスペースの開設も進んでいる。

このような好条件を生かし、**洲本市の自然、歴史、景観、食などを楽しみながら働く「ワークーション」を行いたい都市部の企業を積極的に誘致する。**

2023年6月、観光庁が設立した「テレワーク・ワークーション官民推進協議会」に参画。



るるぶ特別編集淡路島洲本市Vol.4  
洲本市マップ



洲本市街地



- 大浜海岸
- 洲本市民広場
- 洲本市文化体育館
- カネボウ赤レンガ倉庫群
- 洲本図書館
- 県立病院
- 三熊山と洲本城跡
- 城下町や寺町の町並み
- 御食菜采館 (JA直売所)
- 洲本温泉、足湯
- 東光湯(銭湯)
- ホテルや民宿多数
- 商店街多数
- 飲食店多数

コワーキングスペース  
6か所(企画課調べ)9

洲本バスセンターから徒歩圏内のポテンシャル



# ワーケーション推進のねらい

ワーケーションをする社員が市内に滞在することで、観光、飲食、宿泊等での経済効果や、賑わいの創出が見込まれる。

ワーケーションを通して、本市の住民や企業との交流や連携を図り、本市の課題解決に資するプロジェクトの創出に繋がりたい。



淡路島ゼロイチ  
コンソーシアム



## 富士通(株)様とのワーケーションパートナーシップ協定の締結

ワーケーションを推進する本市からのアプローチに応じていただき、本日の協定締結の運びとなった。

☑ 協定の目的：地方創生や地域課題の解決に向けて洲本市のワーケーション推進を図る

☑ 連携事項：

1. 洲本市の「ワーケーション関連施設およびサービスの拡充」
2. 洲本市における「富士通(株)社員のワーケーション推進」

協定締結後は ①本年度中に富士通グループ社員を対象としたワーケーションモニターツアーの開催 ②富士通(株)の社内サイトでの本市の情報掲載 ③富士通(株)社員食堂で本市ご当地メニューを期間限定で販売 などを予定しており、両者のパートナーシップを深める。



ワーケーションを通じた富士通(株)様との連携により、魅力に一層磨きがかかり、活気が溢れる洲本市になることを目指します！

洲本市役所企画情報部企画課  
高橋 壱 (新エネ・域学連携担当係長)  
Hajime\_Takahashi@city.sumoto.lg.jp  
<https://bankalanka.com>

